

教科名〔 数学 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
数学Ⅰ(Ⅰ)	4単位(Ⅰ・Ⅱ計)	1学年 全クラス	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>中学数学の内容を復習し、高校数学に必要な計算力を身につけさせる。</p> <p>方程式と不等式では公式を理解させ確実に問題が解けるように数式への理解を深める。</p> <p>2次関数では放物線のグラフの特徴をつかむ。</p> <p>2次関数のグラフを描くことができるようにする。</p> <p>グラフと方程式・不等式との関係を理解する。</p>
使用教科書・副教材等	<p>使用教科書 : 数研出版 「改訂版 高等学の数学Ⅰ」</p> <p>副教材 : 数研出版 「ポイントノート 数学Ⅰ」</p>

2 学習計画及び評価

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント			
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1学期	(中学校数学の復習) 第1章 方程式と不等式 第2節 方程式と不等式 1. 方等式 2. 2次方程式(1) 3. 2次方程式(2)	4 ・ 5	<p>中学校数学までに学んだ基本的な内容を復習し、高校数学に必要な計算力を身につける。</p> <p>方等式やその解の意味・性質を理解させ、基本的な方程式を解くことができるようになる。</p> <p>因数分解を用いた2次方程式が解けるようになる。</p> <p>平方根の考え方を用いた2次方程式が解けるようになる。</p>	<課題プリント> <課題プリント> 教科書 P29～33 副教材 P30～32	第1学期 中間 考查				
	4. 2次方程式の解の公式 5. 不等式 6. 不等式の性質 7. 不等式の解	6 ・ 7	<p>解の公式を用いて2次方程式が解けるようになる。</p> <p>2次方程式を用いた文章題を解くことができる。</p> <p>不等式の記号の意味を理解する。</p> <p>不等式の性質を具体的に示し、その性質を理解する。</p> <p>不等式の解の意味を理解する。</p>	<課題プリント> 教科書 P34～46 副教材 P33～39	1学期 末 考查				

第2学期	(関数の基本と1次関数)		関数の意味を理解し、中学数学で学んだ1次関数を復習する。	<課題プリント>					
	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ 1. 身近な関数 2. 関数のグラフ 3. $y = ax^2$ のグラフ 4. $y = ax^2 + q$ のグラフ 5. $y = a(x - p)^2$ のグラフ 6. $y = a(x - p)^2 + q$ のグラフ	9 ・ 10	基本的な放物線のグラフの特徴を理解する。 頂点がいりいる動く放物線のグラフを描くことができるようになる。そのグラフが描くことができるようになる。	<課題プリント> 教科書 P50～55 副教材 P42～44 <課題プリント> 教科書 P56～61 副教材 P45～47	2 学 期 中 間 考 査				
第2学期	7. $y = ax^2 + bx + c$ の グラフ	10 ・	平方完成してグラフを描くことができるようになる。	<課題プリント> 教科書 P62～65 副教材 P48～49	2 学 期 末 考 査				
	第2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・ 最小値(1) 2. 2次関数の最大値・ 最小値(2)	11 ・ 12	2次関数のグラフとその最大値・最小値を求めることができるようになる。応用として文章題も解けるようになる。	<課題プリント> 教科書 P66～71 副教材 P50～53					
第3学期	3. グラフと2次方程式(1) 4. グラフと2次不等式(1) 5. グラフと2次不等式(2)	1 ・ 2 ・ 3	グラフと方程式の解との関係を理解する。 グラフを用いて2次不等式を解けるようになる。 2次不等式を用いた文章題が解けるようになる。	<課題プリント> 教科書 P72～69 副教材 P54～59	学 年 末 考 査				
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業で用いたプリントやノート、副教材の問題集、課題プリント等の提出を定期的に求める。									
【1・2・3学期における評価方法】 授業中の態度や取り組み、提出物、考查の結果などを基に、総合的に判断する。									